倭文)

# 南あわじ市畜産共進会資質と美を競う

形美を競い合ったほか、農種51頭が月齢別に資質と体ルスタイン種10頭、黒毛和和牛の部を同日開催し、ホ じ市文化体育館大駐車場で進会を9月20日に、南あわりで、東京のでは、東京のでは、東京のでは、東京のでは、東京のでは、東京のでは、東京のでは、東京のでは、東京のでは、東京のでは、東京のでは、東京のでは、 開催しました。 乳牛 Ó 部

名誉賞= 業功労者の表彰が行われま ※共進会入賞者一覧 ◆乳牛の部 た。 (敬称略) 【未経産】フエア

名誉賞=ふく(仲岡建太郎・ ◆和牛の部

3 0

ポ ロ

(冨永満男・志知)

エツセンス エイリアン

ア

八木)

ラダブリタニー

(髙田茜

ヘイブン JACOBS

サ

優秀賞=

フエア

(冨永満男・志知) ヘミング アルエツト 【経産】フェア

ヘイブ 八木)

ン

E M

(髙田茜・

イブン

R O X Y

バニラ

市が

AI活用の取り組みでグランプリを受賞

【経産】ワ

ルドフエア

川卓也・松帆)、まさ晴・倭文)、きくか。 津井)、 志知)、 最優秀賞 松帆)、こうめ3(福原繁明・ みづき ちふじ は るこ 出 (彦坂登・ か (山野富 口佳宏・ (沖功・ 2 (前

帆)、池尻 蔬菜の部=藤田重利 乳牛の部=不動隆永(広田) ◆ 令和7. 表彰 池尻俊司(神代) (敬称略) 年度農業功労者 前川義美 松松

ラレイ」
乳牛経産の部で名誉賞なん。「カント」と「フェアへ」を「フェアへ」を「フェアへ」を「フェアへ」を、から、おいたの部で名誉賞ない。

Y田牛M

守本市政、 地域と行政

区で順次開催していく系議会と日程を相談し、今後、各地区地域づくり ら約 有する す。 の場」 を、 令和7年11月

年間かけて開催しま 地区を始めとして、 「地域と行政の対話 か

対度話目 行政が直接対話を行い、市内21地区で地域住民 のの 場」が ス タ

彰式(10月9日 • 千葉県) に出席した 本市長((右)) と小松情報課長 人事評価設計、組生成AI時代の人 グランプリを受賞 Н R 「自ら開発・実装 A w

業や組織の取り組みを表彰。 025の公共セクター 生成AI活用普及協会が 人的資本についての 組織変革な 人材育成 ヮ しました。 企 で

あわじ 市 が、 a G d e の

※南あわじ市のDXの取組み 栄冠に輝きました。 検索システ いらご覧くださ ン などが評価され、全国一の素システムやごみ分別ガイ

挑戦」 の両立を目指す 」と題した取り組みを立を目指す南あわじ市人材育成とサービス向 人材育成とサ 内製したAI

る





南あわじ市長 守本 憲弘

### "淡路島の南の玄関口"から新たなにぎわいを

このたび、淡路島の南端、鳴門海峡を臨む絶景の 地に立つ道の駅「うずしお」が、リニューアルオー プンを迎えました。長年にわたり多くの方々に親し まれてきた施設が、新たな装いで再出発できたこと を、大変うれしく思います。

今回のリニューアルは、単なる建物の建て替えで はなく、鳴門岬全体の再整備を見据えた地域振興の 一環として進めてきたものです。鳴門海峡や播磨灘 の雄大な景観を生かし、訪れる方々が淡路島の魅力 や文化、そして淡路島が誇る食の豊かさを体感でき る施設として、より多くの人々に愛される場所とな ることを願っています。

また現在、大鳴門橋の下では、兵庫県と徳島県が 連携して自転車道の整備を進めています。この道が 完成すれば、南あわじ市と鳴門市が自転車や徒歩で 結ばれ、道の駅「うずしお」は淡路島側の「玄関口」

として、両県・両市の交流を担う重要な拠点となり ます。多くの方にお越しいただくことが予想される ことから、市としても駐車場や公共交通の環境整備 にしっかりと取り組み、来訪者の皆さまが快適に過 ごせるよう努めてまいります。関係機関と連携しな がら、誰もが訪れて良かったと思える、温かみのあ るおもてなしを実現していきたいと考えています。

さらに、兵庫県と徳島県の官民が一体となって「鳴 門海峡の渦潮」の世界遺産登録を目指す取り組みも、 今年で11年目を迎えます。9月には国際シンポジ ウムも開かれ、国内外の専門家が集まり、渦潮の価 値や魅力について熱心な議論が交わされました。自 然が生み出す壮大な渦潮は、この地域の誇りであり、 世界に誇るべき宝です。道の駅「うずしお」も、そ の魅力を発信する拠点として、世界遺産登録という 夢の実現を力強く後押ししてまいります。

このリニューアルを契機に、淡路島の南の玄関口・ 南あわじから、島全体ににぎわいがさらに広がって いくことを期待しています。

豊かな自然と人の温かさに触れながら、「淡路島っ てやっぱりいいね」と感じていただけるよう、新し く生まれ変わった道の駅「うずしお」が、多くの笑 顔と出会いをつなぐ場となることを願っています。

# 吉備国際大学からのお知らせ

第9回くにうみ祭のお知らせ

秋風が心地よく感じられる季節、吉備国際大学農学 部では「第9回くにうみ祭」を開催いたします。 南あわじ志知キャンパスで行われる学園祭では、学生 たちが力を合わせて準備した模擬店や楽しいステージ イベントをはじめ、展示企画や体験コーナー、お子様 も楽しめるゲーム、ビンゴ大会など、幅広い世代の人 にお楽しみいただける催しをご用意しております。

地域の皆さまとともに、おいしい食べ物や楽しいひ とときを共有できることを、学生・教職員一同、心よ り楽しみにしております。

ご家族やご友人をお誘い合わせのうえ、ぜひお越し ください。皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

日時 11月15日(土)10:00~16:00

同大学南あわじ志知キャンパス内

模擬店・展示企画・体験コーナー・イベントステー ジ・外部出店ほか

### 地域創成生涯学習講座 2025 のご案内

第5回 「食の安全って何?」

11月18日(火)11:00~12:00

農学部地域創成農学科 教授 相野公孝

「自治体合併20年、健康な住民意識って何だろう」 11月27日(木)11:00~12:00

農学部海洋水産生物学科 教授 平井 順

第7回「健康と足のハナシ」

11月29日(土)11:00~12:00

社会科学部スポーツ社会学科 教授 天岡寛

吉備国際大学南あわじ志知キャンパス

参加費 無料(事前申込制) 申込方法 電話または FAX

開催前日の17時まで 申込期限

同大学南あわじ志知キャンパス 地域連携センター

- ☎ 0799-42-4708 (平日の 9:00 ~ 17:00)
- № 0799-42-4701 (土日祝も受付可)



域と行政の双方の考えを共行政が直接対話を行い、地

## 新規採用職員を紹介します



あつし **敦** 商工観光課

まくの かつゆき 奥野 勝之

税務課

しみず ぜんたろう **清水 善太郎** 都市政策課